

## 平成29年1～7月の交通死亡事故の発生状況

◆ 7月は前年より急増 ◆

NEXCO 東日本調べ

平成29年1月～7月 NEXCO東日本管内の死亡事故

**《23件(+8件)、25名(+8名)》** ( )は前年同期比

◇主な事故形態 《データ重複あり》

- 対向車線飛び出し 5件、5名(昨年同期：3件、4名)
- 自動二輪 5件、5名( 同上：1件、1名)
- 車外放出 4件、4名( 同上：1件、1名)
- 逆走 2件、2名( 同上：0件)

◆7月発生の状況 **《9件(+5件)、11名(+7名)》** ( )は前年同期比

●自動二輪 4件、4名

●シートベルト非着用で車外放出 2件、2名  
" 車内死亡 1件、3名

◇最近の死亡事故の特徴

### ①対向車線飛び出し事故

・暫定2車線の区間では、特にスピードや車間距離に注意してください。

### ②自動二輪車の事故

・二輪車は車と違い天候の影響を受けやすく、事故の際に体を守るものがないため、重大事故に繋がりがやすくなります。

・スピードは控えめに、また路肩や車の間をすり抜けての無理な追越走行は大変危険ですのでおやめください。

### ③車外放出事故

・後部座席の乗員が車外に投げ出される傾向があります。全席シートベルトの着用をお願いいたします。

